



Contents

- | | |
|----------------------------|-------------------|
| 1 2019年4月開設予定 保健医療学部口腔保健学科 | 5 One Dayセミナー開催報告 |
| 2 保健医療学部の特徴 | 6 学内企業セミナー |
| 3 歯学部相互交流プログラム | 7 明海スポーツ |
| 4 オープンキャンパス開催報告 | 8 浦安キャンパス教育後援会 |

2019年4月開設予定

※仮称・設置認可、指定学校申請中

保健医療学部口腔保健学科

東日本の私立大学で初の4年制歯科衛生士養成課程

歯・口腔分野の プロフェッショナルをめざして

2019年4月、浦安キャンパスでの開設をめざして、現在、設置認可申請中の保健医療学部口腔保健学科。文部科学省から認可されれば、2005年にホスピタリティ・ツーリズム学部が開設されて以来、実に14年ぶりの新学部誕生となる。入学定員は70名を予定。超高齢社会、平均寿命の伸長、さらには健康志向の高まりの中において、歯・口腔分野は従来の治療医学はもちろんのこと、予防医学がフォーカスされてきている。また、近年では歯・口腔と全身の健康の因果関係に注目が集まりつつあり、健康増進の観点からも歯科疾患の予防および口腔衛生の向上を担う歯科衛生士のニーズは大いに高まっている。それを裏づけるように、2016年度の歯科衛生士の全国求人倍率は過去最高の20.5倍で、年々増加する需要に対して歯科衛生士の育成が追いついていないことが現状である。一方で、東日本で歯科衛生士養成に係る学部学科などを設置している大学は、国公立の3校のみであり、歯科衛生士の養成は、専門学校や短期大学を卒業して国家試験を受けるケースが多くを占めていた。

これらの状況を踏まえて、今後ますます必要になってくる歯・口腔分野のプロフェッショナルの養成、さらには当該分野の多様化・高度化を見据えた教育研究を目的とする4年制の「保健医療学部口腔保健学科」を開設する。

【2面へ続く】



※写真はイメージ

保健医療学部 3つの特色

歯科衛生士をめざすにあたり、短期大学や専門学校ではなく、なぜ4年制大学が良いのか。国家資格を有する安定した職業と、4年制大学の親和性は高く、在学中の学びの質から卒業後のキャリア形成まで、さまざまなシーンでメリットが挙げられる。中でも特筆すべき本学の特色が次の3点である。

- 充実した基礎教育、語学教育、海外研修制度
- 歯学部分野での実績に基づいた専門教育
- 幅広い卒業後のキャリア

充実した基礎教育、語学教育、 海外研修制度

学部教育の4年間を通じて、口腔保健分野における学識、高度な臨床能力と研究能力を養いつつ、英語をはじめとする語学教育、海外研修によって国際社会で活躍できる人材の育成をめざす。語学教育以外にも、基礎教育、人間力形成教育、キャリア形成教育は、既存の他学部と連携したカリキュラムを応用することで初年度から質の高い教育を提供することができる。

歯学部分野での実績に基づいた 専門教育

本学は1970年の開学以来多くの歯科医師を輩出してきた歯学部および附属大学病院を有しており、加えて東京都渋谷区、千葉県浦安市、埼玉県入間市にPDI歯科診療所とい

った臨床研修機関を設置している。そのため、歯学部が蓄積してきた教育研究実績を活用しつつ、ダイレクトに臨床研修までつなげることができる。その上で、地域の社会福祉施設、健康センター、学校等でも実習を行うことで、チーム医療の一員として歯科診療補助の基礎的理論や技術の修得をめざす。

幅広い卒業後のキャリア

4年間の学修を経て卒業が認定された者には、「学士（口腔保健学）」の学位が授与され、同時に「歯科衛生士国家試験の受験資格」を得る。また、厚生労働大臣の指定する社会福祉関係科目3科目以上を修得した者は「社会福祉主事任用資格」を取得することができる。学士を有する歯科衛生士として、病院、歯科診療所、介護・福祉施設などはもちろんのこと、口腔ケアに関する商品・サービスを扱う歯科関連の民間企業への就職、保健医療・口腔保健を研究領域とする大学院への進学が想定される。

※上記内容は予定であり、今後変更となる可能性があります。



※写真はイメージ

元NHKアナウンサー堀尾正明氏が 明海大学の客員教授に就任



宮田理事長と握手を交わす堀尾氏（右）

現在フリーキャスターとして活躍している堀尾正明氏が、明海大学外国語学部の客員教授に就任した。特別講義やシンポジウムにおける講演などを担当する。堀尾氏は、早稲田大学第一文学部哲学科を卒業後、1981年4月～2008年3月までNHKアナウンサーとして活躍し、紅白歌合戦の総合司会を務めるなど、多くの番組を担当した。フリーキャスター転

身後は、北京オリンピックの中継放送や情報番組への出演、講演会など、さまざまな分野で活躍している。

明海大学は、堀尾氏の実践的な経験を活かし、アナウンサーならではの「日本語の美しさ」や「言葉で伝える重要性」を授業に取り入れ、学生たちの対話力、コミュニケーション能力の向上を図る。

この講義を通じ、幅広い視野や多様な価値観、国際感覚を身につけ、更なる国際力が必要とされる未来社会で活躍する人材を育成していく。

歯学部相互 交流プログラム

トゥルク大学から研修生が来学

歯学部では「国際的な歯科医師を育成する環境」を整え、海外協定校との相互交流に力を入れている。中でも、交換研修プログラムはその大きな特色のひとつ。在学中に諸外国の歯科医学の現状を学ぶことができる奨学海外研修制度を設けるとともに、研修に参加した学生が海外から研修生を迎え入れることで、継続的かつ相互的な交流が実現できるプログラムとなっている。6月4日から7日にかけては、フィンランドのトゥルク大学から研修生2人とインストラクター2人を受け入れ、昨年の8月にトゥルク大学での海外研修に参加した本学学生が世話役を務めた。

研修生らは6日に坂戸キャンパスを訪れ、本学教員による国際交流や教育・研究などに関する講義を



トゥルク大学の研修生ら

受講した後、付属病院を見学した。昼には教職員らによる歓迎パーティーに参加し、本学学生と互いの国の歯科事情について情報交換するなど、積極的に交流する姿が見られた。

研修生からは、「今回の研修を通じて学んだ日本、そして明海大学の歯科システムや出会った仲間は、人生の貴重な財産です」といった声が聞かれ、実り多い研修となった。

2018年度歯学部学業成績優秀者表彰式

5月10日、坂戸キャンパスで2018年度歯学部学業成績優秀者の表彰式が行われ、学業成績が優秀で、品

行方正な各学年上位10位（2年生は該当年度入学者の上位10%）の学生52人が表彰された。これは、学生の修

学意欲の高揚を図ることを目的に毎年行われているもので、今年で34回目を迎える。

表彰式では多くの教職員が見守る中、学年ごとに受賞者の名前が呼ばれ、草間薫歯学部長から表彰盾が授与されると、会場は温かい祝福の拍手につつまれた。表彰式後には受賞を祝した昼食会が催され、和やかな雰囲気のなか、歓談する様子が見られた。

入学から毎年受賞しているパーフェクト受賞者の1人である小澤敦季さん（歯学科6年）からは、「限られた時間の中での学習と部活動の両立は大変ですが、毎年表彰していただけることは、自分にとって学習の一つのモチベーションになりました。今の状況に満足せず、国家試験に向けて着実に準備を進めていきたいと思います」と喜びを語った。



パーフェクト受賞者の細田晋さん（左）、小澤敦季さん（中）、山浦貴史さん（右）

オープンキャンパス開催報告

浦安キャンパス 新施設で学修成果を披露



在学生・学部長による学部紹介

浦安キャンパスでは、5月13日、6月17日に外国語、経済、不動産、ホスピタリティ・ツーリズム学部志望者を対象としたオープンキャンパスを開催。多くの高校生、保護者が来場し、キャンパスは活気に包まれた。

本年4月にリニューアル

オープンした「教職課程センター・地域学校教育センター（通称：METTS Commons（メッツコモンズ）-Meikai Teacher Training Support Commons-）」では、教職課程に関する相談のほか、中学校・高等学校の教員をめざす学生が模擬授業を行い、日々の学修成果を披露した。

また、在学生がキャンパス内を案内する『キャンパスツアー』には毎回多くの方が参加し、「綺麗で新しい施設が多く、教育環境が充実している」「キャンパスライフを具体的にイメージすることができた」などの感想があり、大変好評だった。

坂戸キャンパス ご父母対象ガイダンスが盛況

坂戸キャンパスでは、5月27日、6月24日にオープンキャンパスが開催され、歯学部を志望する高校生や保護者が多く参加した。今回の特別プログラム『ご父母対象ガイダンス』では、保護者からの関心度が高い奨学金や一人暮らしに関する情報、入学後の学生生活サポートなどについて説明し、多くの保護者が参加した。

また模擬授業では、口腔内のさま

ざまな病症例について解説があり、真剣な表情で講義を受ける参加者の姿が見られた。

午後からは、学食体験（無料）やキャンパスツアー、個別相談が行われた。来場者からは、「模擬授業の内容が分かりやすく、大変興味深かつ



在学生と気軽に話せる学食体験

た」「学生スタッフがとてもいきいきとしていて、より一層入学したいと思った」などの声が聞かれた。

ホスピタリティ・ツーリズム学部 社長講座

JTB会長らが講演

ホテルや旅行、エアライン業界などに高い就職率を誇るホスピタリティ・ツーリズム学部（以下、HT学部）



講義するJTBの田川会長

では、企業が求める人材の育成を目的に、実践教育に力を入れている。

HT学部の授業科目「特別講義」（通称：社長講座）では、日本のホスピタリティ・ツーリズム業界を代表する企業の経営トップを招き、オムニバス形式で業界の動向や仕事に対する考え方を学ぶ。5月31日に（株）JTB会長の田川博己氏（HT学部客員教授）、6月7日に（株）帝国ホテル社長の定保英弥氏（HT学部客員教授）、14日に成田国際空港（株）社長の夏目誠氏を招き、講義が行われた。

JTBの田川会長は、ツーリズム産業を取り巻く国際環境の変化や日本におけるツーリズム産業の現状とツーリズムがもたらす力について解説した上で、「これからのツーリズム産業には新たなイノベーションの道筋を見出す人材が必要。新しい発想力を持つ人材と成長・発展を兼ね備えた人材が求められる。ぜひ、旅に行って世界を知りましょう」と学生にメッセージを送った。

今後は、7月5日に（株）ホテルオークラ東京取締役相談役の清原當博氏、12日に日本航空（株）常務執行役員旅客販売統括本部長の二宮秀生氏を招いての講義が行われる。

One Dayセミナー開催報告

5月・6月の休日、浦安キャンパスで、外国語、経済、不動産、ホスピタリティ・ツーリズム学部（以下、HT学部）のOne Dayセミナーが開催された。

One Dayセミナーは、少人数定員制のため、参加者と在学生・教員との距離が近く、コミュニケーションをしっかりとれることも魅力のひとつ。参加した高校生たちは、はじめは緊張した様子だったが、体験授業やグループワークなどを通じて、次第に参加者同士で打ち解け、楽しそう

に会話する姿や、在学生や教員に積極的に質問する姿が見られた。

高校生からは「オープンキャンパスでは気付かなかった学科の新たな魅力を発見することができた」「パネルディスカッションで在学生の体験談やキャンパスライフを聞くことができ、進路を決定する上で非常に参考になっ



外国語学部One Dayセミナー

た」「学生と先生との距離が近く、きめ細かい指導を受けることができるため、ぜひ入学したい」などの感想が寄せられ、どの学部も満足度の高いセミナーとなった。

日本語指導で社会貢献

全国公立小中高等学校の外国籍児童生徒のうち、とくに日本語指導が必要なケースは年々増加の一途をたどり、ここ10年で1.7倍、実に4万人を超えている。こうした児童生徒の母語は、ポルトガル語、中国語、フィリ



日本語指導でコミュニケーション

ピン語、スペイン語、ベトナム語などであり、いわゆる非漢字圏をルーツとしている子どもが増えていることがその特徴の一つである。

このような事情を背景に、本学は2016年4月に教職課程センター・地域学校教育センターを設置。在京外国人生徒対象入試を行っている都立飛鳥高校、都立田柄高校、都立竹台高校、都立南葛飾高校に在籍する生徒に対して、日本語学科や応用言語学研究科の学生が、週2日から3日、高校の放課後に訪問して、日本語のレベルに応じた日本語指導支援等を精力的に行っている。また、学生等による

指導のほか、高校現場の先生方に対する本学教員による日本語指導の研修も実施し、高い評価を得ている。

今後とも、これらの取組をもとに「日本語指導ができる明海大学」を、今後の本学における戦略と位置づけ、ブランド力の高い大学をめざす。



先生方に対する日本語指導研修

One Dayセミナー 要予約

ホスピタリティ・ツーリズム学部
ホスピタリティ・ツーリズム メジャー

7月22日(日) 10:30~12:30

【プログラム】エアライン、ツーリズム業界出身の教員による体験授業

ホスピタリティ・ツーリズム学部
グローバル・マネジメント メジャー

7月22日(日) 13:30~16:00

【プログラム】英語で行われる体験授業
テーマ:マーケティング、ツーリズム

場所: 明海大学浦安キャンパス

(高校生・保護者限定／完全予約制／参加費無料)

※プログラム等は変更となる場合があります。

※詳細は本学公式HP (<http://www.meikai.ac.jp>) をご覧ください。

お問い合わせ／企画広報課 TEL:047-355-1101

予約方法

携帯電話からQRコードを読み取り、明海大学公式携帯サイト

(<http://meikai-m.gdd.jp>) にアクセス。
オープンキャンパスページのOne Dayセミナー予約画面からお申し込みください。



学内企業セミナー 明海生を積極採用する企業を招く

5月と6月に浦安キャンパスで、4年生を対象とした学内企業セミナーが開催され、多くの学生が参加した。このセミナーは、さまざまな企業の採用担当者が会社概要・仕事内容・採用情報などを学生に直接伝える場であり、例年多くの学生がここでの出会いをきっかけに就職内定を獲得している。

5月29日と30日に行われたセミナーには、サービス・情報通信・建設・不動産・運輸・メーカーなど

の幅広い業界・業種から、約60社が参加した。会場には、「企業から学生の皆さんへ」として、採用担当者による手書きのメッセージが飾られるなど、学



真剣な眼差しで採用担当者の話を聞く学生たち

生にとって企業を身近に感じられる雰囲気の中で、積極的にブースに訪問し、熱心に説明を聞く学生の姿が見られた。セミナーに参加した学生は「仕事内容や職場の雰囲気など、気になることを直接質問でき、有意義だった」「今まで志望していなか

った業界に興味を持つきっかけになり、就職活動の幅が広がった」「今後の採用スケジュールなど、詳しい話をじっくりと聞くことができた」と感想を話した。

本学では、早い段階から学生の就業意識を高めるために1年次からキャリア教育を行っており、今後も就職活動に挑む学生たちを万全の体制で支援していく。



参加企業からのメッセージ

就職ガイダンス 就職活動への意識づけを早期に実施

6月5日、浦安キャンパスで3年生を対象とした就職ガイダンスが開催され、約360人の学生が参加した。本学では、学生一人ひとりの夢の実現

を支援するため、入学時から就職内定まで4年間一貫して継続するキャリア教育を行っている。3年生の6月からは、就職に関するガイダンスなどを開催し、就職活動の時期別に必要な知識やアクションを学生にアドバイスしている。

今回の就職ガイダンスでは、(株)ソーシャルデザイン研究所の福島直樹氏を

講師として招き、「行きたい会社の見つけ方～インターンシップに行こう!～」をテーマに講演が行われた。福島氏はインターンシップに参加する意義として、「やりたい仕事を見つけるためにも複数の業界・企業のインターンシップに参加してほしい。また、入社後のミスマッチ防止にもつながる」と話した。さらに、インターンシップ企業を選ぶ際のポイントとして、「広い視野から調べることで、複数の企業を客観的に比較することが大切」といった。

真剣な表情で講演に耳を傾け、メモを取る参加学生からは、就職活動に対する意欲が早くも感じ取られた。



インターンシップ参加の重要性を説く福島氏

明海スポーツ

体育会ヨット部が快挙達成!

体育会公式ホームページ <http://meikai-sports.jp>

体育会ヨット部

「2018年度関東学生ヨット春季選手権大会女子レース」で総合優勝!

4月28日・29日の2日間、神奈川県葉山沖で開催された「2018年度関東学生ヨット春季選手権大会女子レース」で、本学体育会ヨット部が470級、スナイプ級の両クラスで1位を獲得し、4年ぶりの総合優勝を達成した。

470級で優勝した鍋岡薫（経済学科4年）・戸井瀬亜（経済学科4年）ペアは、1日目の3レースを終えた時点で2位。首位との差はわずか1点差で、巻き返しを狙って臨んだ2日目では、第4レースから3連続でトップフィニッシュを決め、念願の初優勝を飾った。

スナイプ級優勝の花本菜美（経済学科4年）・仁杉衣里（日本語学科4年）ペアは、1日目の第1・2レースで1位、第3レースで2位と、素晴らしい

レースを見せ首位に立つと、続く2日目も安定した走りで、見事、初優勝となった。

今回の結果を受けて國府田由隆監督は、「並み居る強豪校をおさえ、完

全優勝を飾ることができて嬉しい。選手たちも自信につながったと思う。今後も課題を克服し、さらなるレベルアップを図っていきたい」と語った。



初優勝を飾った鍋岡・戸井ペア

体育会サッカー部

「明海大学ジュニアサッカー教室」開催!



サッカーを通じて小学生との交流を深めた本学体育会サッカー部

6月17日に浦安キャンパスで、本学体育会サッカー部主催による「明海大学ジュニアサッカー教室」が開催された。これは、地域貢献の一環として浦安市在住の小学生を対象に行われたもので、約40人の小学生が参加した。

参加した子どもたちは、本学体育会サッカー部の選手による指導を熱心に聞きながら、笑顔でサッカーを楽しんでいた。また、初対面であってもスポーツを通じて接することで、休憩時間にはすっかり打ち解けた様子が見られた。

今回のイベントのリーダーを務めた本学体育会サッカー部の遠藤風貴選手（日本語学科4年）からは、「技術力を向上させることよりも、まずはサッカーを楽しんでもらうことを第一に、実施メニューを自分たちで考えました。ウォーミングアップやミニゲームなど、子どもたちが終始、笑顔で取り組んでいたの、我々部員も一緒に楽しむことができました」と話し、大盛況のうちに幕を閉じた。

浦安キャンパス 教育後援会

創立30周年記念祝賀会を開催

6月2日、浦安キャンパス教育後援会の創立30周年記念祝賀会が浦安ブライトンホテル東京ベイで開催され、新旧の教育後援会役員・評議員、大学教職員ら総勢約170人が出席した。

冒頭、戸澤五月浦安キャンパス教育後援会会長は、「本会が1988年に発足してからおかげさまで創立30周年を迎えることができました。心より感謝申し上げます。今後も保護者の

視点から様々な情報を発信し、時代のニーズに即した活動を幅広く展開していきたい」と挨拶し、創立30周年を記念して、グラウンド用スタンド席が目録として大学へ贈呈された。



鏡割りを行う関係者の皆さん

宮田淳理事長からは、「教育後援会が長きに渡って大学の発展に貢献してくださったことに感謝している。今後も学生のサポートと大学の発展のためにご支援を賜りたい」と祝辞が述べられた。安井利一学長からは、「学生と大学を支えることにご尽力いただき深く感謝します。これからも教育後援会と

明海大学は、ともに大きく成長していきたい」と挨拶があった。

また、学生のキャンパスライフの充実のために多大な貢献のあった企業や協会などに対して感謝状および記念品が贈呈された。

さらに、ジャズオーケストラ部による演奏が披露され、会場内では思ひ出話に花が咲くなど盛会のうちに記念祝賀会は閉会となった。



ジャズオーケストラ部による演奏

大阪北部で発生した地震ならびに西日本での豪雨により被害に遭われた皆さま

6月18日に発生した大阪北部を震源とする地震により被災された皆さま、また、7月7日より続く豪雨により被災された皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。そして犠牲になられた方々に謹んで哀悼の意を表します。被災地の皆さまの安全と一日も早い復興をお祈り申し上げます。明海大学は全力で支援に取り組んでまいります。

Open Campus 2018

各日程の特別プログラム等は本学公式HPをご覧ください。
<http://www.meikai.ac.jp>

浦安キャンパス 10:00~15:00 予約不要

外国語／経済／不動産／ホスピタリティ・ツーリズム学部

**7月15日(日)、7月29日(日)、8月4日(土)、8月19日(日)、
9月16日(日)、9月30日(日)、10月28日(日)**

オープンキャンパス(入試相談会)

要予約 8月25日(土)

予約不要 11月3日(土)、11月4日(日) ※明海祭同時開催

お問い合わせ／企画広報課 TEL 047-355-1101

坂戸キャンパス

10:30~16:00 予約不要

歯学部

**7月22日(日)、8月26日(日)、
10月6日(土)、10月7日(日)、
11月18日(日)**

※10月はけやき祭同時開催、11月は要予約
お問い合わせ／歯学部入試事務室
TEL 049-279-2852